科目ナンバリング	U-LAS05 10007 LJ23				
授業科目名<英訳>	人文地理学 Human Geography		担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授	小島　泰雄
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(基礎)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	月2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

テーマ：人文地理学を学ぶ。
人文地理学を学ぶことで、私たちの生きている世界はどのように見えてくるのだろうか。地理学の基本的な概念の紹介と、それを用いた具体的な事例の解釈を通して、受講生の地理学的想像力を培うことをめざす。

[到達目標]

人文地理学の基本的な方法を理解する。
地理学的創造力を用いて、生活と研究を活性化できるようになる。

[授業計画と内容]

以下のような課題について、1課題あたり１～２週の授業をする予定である。授業回数は15回、最終回はフィードバック。
（１）地理学：地理学的想像力とは？
（２）分布：事物のひろがりのどこに注目するのか？
（３）地域：私たちにとって地域とは？
（４）グローバル化：それでも「地理が問題」とは？
（５）距離：暮らしにとって距離の果たす役割とは？
（６）立地：なぜそこにあるのか？
（７）中心地：多様な中心地を把握するとは？
（８）都市：都市を面として捉えるとは？
（９）山村：周縁で暮らすとは？
（10）作図：地図を描くために知っておくこととは？
（11）読図：地形図で見知った場所はどうかわる？
（12）景観：景観をいかにとらえるか？
（13）環境：環境を人間はいかに考えるか？

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

主に期末試験による（8割）が、授業への参加度を加味する（2割）。
授業への参加度は、授業終了時のミニッツペーパー（5%）と授業後2週間以内に提出する課題レポート（15%）の提出によって測る。

[教科書]

使用しない

人文地理学(2)へ続く↓↓↓

人文地理学(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業ごとに提示される課題レポートに取り組むことで、授業内容の理解を深め、さらに自らの興味関心に応じて発展させることが可能となる。なお課題レポートは2回の提出を標準とする。

[その他（オフィスアワー等）]

履修希望者が教室の収容可能人数を超えた場合には、履修制限を行うことになります。とくに履修を希望する学生には「教員推薦」を実施する予定です。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部